平成25年度　Ｃブロック勉強会　アクションプラン

(薬局名)　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月12日（木）

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

シールだけ渡していること。他の医師に見られたくないと思っている患者。薬剤師に話す必要がないと思いっている患者。プライバシーの問題。　手帳を病院ごとに分けている。

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　患者がお薬手帳の本来の意義を理解していないことが問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | Ｃ１班 | 目標：患者全員にお薬手帳を持参いただくこと。 |   　　目標にいたる具体的な解決策   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | いつ  （実施時期） | ４月から | 誰が  （実施主体） | 個人 | | 誰に  （働きかけ先） | 患者 | | | | どのように  （方法） | お薬手帳に検査値、気になったこと、OTC、日頃のちょっとした体調変化を記入していただくツールとして説明  （飲んだ経験のある薬の記録、下痢した薬の記録などお薬手帳は服薬に歴史）  患者に今一度、お薬手帳の意義をわかりやすく説いたパンフ（文章）を作る。 | | | | 備考 |  | | | |

◆振り返り

　継続して受診される患者さんは手帳持参率が高く、急性疾患での急な受診の際は持参率は低い。今回のディスカッションで皆さんの意見の方向性はほぼ同一で、お薬手帳の意義や利用方法などが患者ご本人に伝わってないことが多いし我々薬剤師の啓発活動にも薬局ごとに温度差があるのは明らかで、これをどう一般化させるかが課題。

今回のアクションプランを足がかりに活動が広がり持参率向上を目指したい。